



協議会名： 三重県地域公共交通協議会

評価対象事業名： 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統） ④達成状況は、目標達成（100%以上）をA、目標未達成路線のうち目標値90%未満or輸送量実績15人未満をC、目標値100%未満～90%以上をBとした。

系統番号	①補助対象事業者等	②事業概要	③事業実施の適切性	④目標・効果達成状況 (目標：輸送量の維持)							⑤事業の今後の改善点 (特記事項を含む)	
				輸送量				収支率		R7輸送量 目標 (人)		
				R7 計画 (人)	R7 実績 (人)	平均乗 車密度 (人)	運行 回数 (回)	R7 計画 (%)	R7 実績 (%)			
1	三重交通(株) 桑名阿下喜(B)線	桑名駅前ーヨナハ丘の上病院、いなべ総合病院ー阿下喜(車両減価償却費等国庫補助金)	A 所定の事業計画どおりの運行が実施された。	A	43.3	40.9	3.5	13.6	40.6	43.1	29.7	本路線は、桑名市中心部より東員町を経由していなべ市に至る路線である。令和7年6月22日、桑名駅西口の共用開始に伴い、復路運行便を桑名駅西口に乗り入れることで利便性が向上した。沿線には高校、病院が存在し、通勤通学のほか、買物利用が多い。桑名市の一部区間を除く大部分の区間は三岐鉄道北勢線と並走する形となっており、今後も安定的に維持していくためには鉄道との役割分担を明確化し、役割に応じた運行としていく必要がある。
2	三重交通(株) 四日市福王山線	JR四日市ー川原崎ー福王山(車両減価償却費等国庫補助金)	A 所定の事業計画どおりの運行が実施された。	A	34.5	45.1	4.7	9.6	57.3	62.7	35.5	本路線は、四日市市中心部と菰野町北部を結ぶ路線である。メリノール学院へ通学する中高生の通学や、四日市市内への通勤が主な利用と想定されている。通勤、通学に利用しやすい路線となるよう効果的な利用促進に努める必要がある。菰野町MaaS「おでかけこもの」と連携し、さらなる利便性向上と利用促進を図る。
3	三重交通(株) 水沢線	JR四日市ー室山、高花平ー樺大神社(車両減価償却費等国庫補助金)	A 所定の事業計画どおりの運行が実施された。	A	42.7	51.1	5.5	7.0	65.7	67.9	43.8	本路線は、四日市市中心部より四日市市内の大規模団地を経由して鈴鹿市北部まで至る路線である。沿線に位置する高校への通学利用や団地住民の通勤利用、終点の樺大神社や宮妻峽等の地域資源、観光スポット等へのアクセス手段としてPRする等、多様な利用促進に努める必要がある。
4	三重交通(株) 平田四日市線	近鉄四日市(ーイオンタウン四日市泊)ー国道加佐登ー平田町駅	A 所定の事業計画どおりの運行が実施された。	A	24.4	25.2	3.2	7.9	57.4	49.1	25.0	本路線は、近鉄四日市駅から四日市市南部エリアを経て鈴鹿市内に至る路線で、通学等の重要な交通手段となっており、地区によっては、唯一の公共交通となっている。沿線には大型商業施設や高等学校、工業団地があることから、買い物利用客の需要喚起や、通勤、通学利用の促進等に取り組むことが必要である。渋滞が発生しやすい区間が多く、定時性の確保が大きな課題である。
42	八風バス(株) 梅戸(B)線	桑名駅前ー伊坂台ー桑名西高等学校	A 所定の事業計画どおりの運行が実施された。	A	80.0	92.0	5.9	15.9	81.4	79.9	81.3	本路線は、桑名駅より桑名市南部を運行し、四日市市の北部地域を経由して桑名西高校へと至る路線である。沿線居住者の通勤・通学等の重要な公共交通手段となっている。朝夕は上り下りともに利用者が多いが、日中の利用者を増やすために買い物利用をはじめとした生活利用の促進が必要である。